

TOMORROW'S KYOTO
Cultural Heritage Platform
2024

明日の京都 文化遺産プラットフォーム

京都と世界をつなぐ。伝統と創造をつなぐ。人と人をつなぐ。

「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」は、我々がいま目にするものだけではなく、千年前に思いを馳せ、百年後に思いを巡らせることにより、全ての人々が日々の暮らしの中で京都の歴史の重さを感じ、それをかけがえの無いものとして捉えるようになることを目指します。

わたしたちは、歴史都市京都を誇りに思っています。



文化遺産を護り、育み、創造するために

- 古都京都の「文化遺産」を毀損することなく後世へ継承すること
- 「文化遺産」に現代的な課題に応え得る価値を見出し、未来に向けてその存在意義を高めていくこと
- 百年先を見据え、新たに「未来の文化遺産」を創造すること

目次

明日の京都 文化遺産プラットフォーム	1
令和6年度(2024年度)明日の京都 文化遺産プラットフォーム役員一覧	2
～世界遺産「古都京都の文化財」登録30周年記念～	
第14回フォーラム「教えて！勇田先生 未来のための災害の歴史」	3
「京都の文化財を描こう」子ども絵画コンクール	4
第13回世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議／明日の京都講座「相国寺」	5
文化遺産の危機管理研究会	6
コッコッ！日本文化の扉シリーズ(全3回)	7
子ども文化教室「和歌を楽しむ」	8
新春 子どもお茶会／子ども茶歌舞伎体験	9
不登校児童支援企画 光る泥だんごを作ろう／テンブルステイ in 宇治	10
京都世界遺産PBL科目／京都の伝統工芸・伝統産業：産学連携教育／明日の京都インターンシップ	11
羅城門の再建に向けて	12
令和6年度(2024年度)主な活動一覧	13
令和6年度(2024年度)明日の京都 文化遺産プラットフォーム企画調整委員一覧	14

令和6年度(2024年度) 明日の京都 文化遺産プラットフォーム 役員一覧 *敬称略

役職	氏名	職位・肩書	役職	氏名	職位・肩書
会 長	松浦 晃一郎	第8代ユネスコ事務局長	理 事	田中 誠二	公益社団法人京都府観光連盟会長 公益社団法人京都市観光協会会長
副会長	土岐 憲三	立命館大学特別研究フェロー		田中 恆清	京都府神社庁長 石清水八幡宮宮司
	冷泉 貴実子	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫 常務理事		塚本 能交	京都商工会議所会頭
	高見 茂	京都光華女子大学学長		仲谷 善雄	学校法人立命館総長
理 事	赤松 玉女	京都市立芸術大学理事長・学長		西脇 隆俊	京都府知事
	有馬 頼底	一般財団法人京都仏教会理事長 臨済宗相国寺派管長		松井 孝治	京都市長
	池坊 専好	華道家元池坊次期家元		松村 淳子	宇治市長
	井上 八千代	京舞井上流五世家元		湊 長博	京都大学総長
	内田 隆	一般社団法人京都経済同友会代表幹事		宮城 泰年	一般財団法人京都仏教会常務理事 聖護院門跡門主
	大西 祐資	株式会社京都新聞社代表取締役社長 主筆		村田 純一	公益財団法人京都文化交流 コンベンションビューロー理事長
	臈谷 寿	同志社女子大学名誉教授		森 清顕	北法相宗宗務長 清水寺執事 教学部長
	金田 章裕	京都府立京都学・歴彩館館長		吉田 孝次郎	公益財団法人祇園祭山鉦連合会顧問
	小原 克博	公益財団法人大学コンソーシアム京都 理事長	監 事	岡田 博邦	一般社団法人京都銀行協会 元専務理事
	千 宗室	茶道裏千家家元		坂口 博翁	一般財団法人京都仏教会常務理事 別格本山覚勝院名誉住職

任期：～令和7年3月31日まで

(令和6年7月1日現在)

～世界遺産「古都京都の

1994年の世界遺産「古都京都の文化財」登
この契機に人類共通の財産である文化財に思いを馳せ、それらを未来
歴史学者の磯田道史氏を講師として招いたフォーラムおよび



磯田 道史 氏

第14回フォーラム 「教えて!磯田先生 未来のための災害の歴史」

■ 日 時：令和6年(2024年)10月14日(月・祝)14時00分～16時00分
■ 会 場：立命館朱雀キャンパスホール

〈内 容〉

- ・開会挨拶：松浦 晃一郎 氏(明日の京都 会長、第8代ユネスコ事務局長)
- ・特別講演：「京都の災害史」磯田 道史 氏(歴史学者)
- ・閉会挨拶：土岐 憲三 氏(明日の京都 副会長、立命館大学特別研究フェロー)



松浦 晃一郎 氏



土岐 憲三 氏



ボーイスカウトによる
防災チャレンジコーナー



「同日開催」

「京都の文化財を描こう」 子ども絵画コンクール表彰式

- ・主催者挨拶：坂口 博翁 氏(明日の京都役員、京都仏教会常務理事)
- ・表 彰：明日の京都会長賞、京都仏教会理事長賞、
京都府神社庁長賞、京都府知事賞、京都市長賞、
宇治市長賞、大津市長賞、京都市立芸術大学学長賞、
京都市文化観光資源保護財団理事長賞、審査員特別賞
- ・講 評：中下 美華 氏(京都市図画工作教育研究会会長)



坂口 博翁 氏



中下 美華 氏



参加者の声

- ・子供達に向けて文字の力、実物を見ることの大切さ自ら学ぶ力を伝えていただき嬉しく思いました。
- ・古文書や日記から京都の災害史を深く知ることができ大変おもしろかったです。
- ・同じ日本史を学んでいる者として感慨深さを感じると共に非常に得るものが多い講演でした。今京都で暮し、今後も数十年生きることになるだろう中で、地震の可能性を歴史から紐解かれる様子を見て歴史学の面白さ、意義を改めて考える機会にもなりました。
- ・子どもと参加しましたが、子どもに分かりやすくまた歴史にも災害にも興味を持つきっかけになるお話でした。

文化財」登録30周年記念～

録から2024年で30年の節目を迎えました。

につないでいく想いが子どもたち一人ひとりの心に芽吹くことを願い、

『京都の文化財を描こう』子ども絵画コンクールを実施しました。

「京都の文化財を描こう」

子ども絵画コンクール

■ 募集期間：令和6年(2024年)7月中旬～8月31日(土)

■ 題 材：世界遺産「古都京都の文化財」に登録されている社寺城をはじめ、
京都府及び大津市内の文化財

■ 応募総数：203点



作品展

■ 期 間：令和7年(2025年)2月19日(水)～3月4日(火)

■ 会 場：京都ポルタ 北通りイベントスペース
(地下鉄京都駅 北改札口西側)





第13回 世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議

- 日 時：令和7年(2025年)2月25日(火)14時00分～16時00分
- 会 場：立命館朱雀キャンパス 7階701会議室
- 司会進行：長澤 香静 氏(ネットワーク会議副座長、京都仏教会事務局長)

〈内 容〉

- ・開会挨拶：明日の京都文化遺産プラットフォーム会長 松浦 晃一郎 氏
- ・講 演：「文化財防災と阪神・淡路大震災」 土岐 憲三 氏(立命館大学特別研究フェロー)
- ・話題提供：「京都市の文化財防火対策について～全国唯一の消防局文化財係、文化財市民レスキュー～」
岸本 健史 氏(京都市消防局予防部予防課 担当課長)



会議の様子

世界遺産「古都京都の文化財」をはじめとする社寺城が一堂に集い、それぞれが抱える共通の課題について情報共有や課題解決の糸口を探る場として団体発足当初より開催しています。国際的な歴史都市である京都において歴史的な建造物を持つ社寺城は、今後、想定される大震災や火災に備えた防災対策、歴史的な景観を守る緩衝地帯の問題など、保存

と継承を巡る諸問題を多く抱える現状にあります。文化財防災の観点を中心に京都の現状や未来について、立命館大学特別研究フェローの土岐憲三氏より講演いただき、また、京都市消防局予防部予防課の岸本健史氏より話題提供をいただきました。



松浦 晃一郎氏



土岐 憲三氏



岸本 健史氏

明日の京都講座「相国寺」

- 日 時：令和7年(2025年)3月10日(月)13時30分～15時30分
- 会 場：相国寺 書院
- 参 加 費：一般2,000円

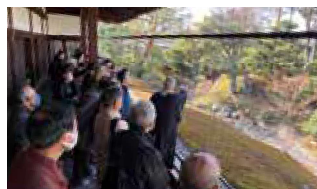
〈内 容〉

- ・講 演：「室町幕府と相国寺」江上 正道 師
(臨済宗相国寺派教学部長)
- ・特別参拝・拝観：法堂・方丈・開山堂



江上 正道 師

明日の京都講座は、文化財の価値やその保存と公開、景観等をめぐる諸問題に対して理解を深めることを目的に文化財所有者が語る連続講座形式で開催しています。2011年に上賀茂神社で開催して以降、今回で15回目を迎えました。15回目の舞台は現存最古かつ最大級の法堂建築をもつ「相国寺」。臨済宗相国寺派・教学部長の江上正道師より「室町幕府と相国寺」につき、講演をいただきました。講演後、天井には鳴き龍として知られている、野光信筆の「蟠龍図」が描かれた法堂をはじめ、方丈や開山堂の特別拝観を実施いただきました。



見学の様子



相国寺について

臨済宗相国寺派の大本山。相国寺は、京都五山第二位に列せられる名刹です。正式名称は萬年山相國承天禪寺。十四世紀末、室町幕府三代将軍の足利義満により創建されました。幾度も焼失と復興の歴史を繰り返しましたが、現存する法堂は日本最古の法堂建築として一六〇五年に再建された物を今に伝えています。夢窓疎石を開山とし、創建当時は室町一条あたりに総門があったといわれ、北は上御霊神社の森、東は寺町通、西は大宮通にわたり、約百四十四万坪の壮大な敷地に五十あまりの塔頭寺院があったと伝えられています。(参考：相国寺ホームページ)



文化遺産の危機管理研究会

災害から京都を守るためにできること

文化遺産の危機管理研究会は、文化遺産を自然災害や人為災害から守るための施策を検討し、国や府・市に提案していくことや市民・地域防災力の向上を目的に平成29年(2017年)に発足しました。自然災害のなかでも大規模

な直下型地震が京都を襲った際には同時多発火災が発生すると想定されます。その被害を減らすため市民や行政による「備え」を検討し、提案しています。

長期計画 京都盆地復水計画

火災の脅威に対する備えとして、自然流下水を街中に通水する「京都盆地復水計画」を提案しています。自然流下水を防火用水・災害用緊急用水として活用するだけでなく、水辺の親水空間として市民の方々へ憩いの場を提供するなど、多様な場面での活用が期待されます。

令和6年度(2024年度)は「東ルート(御所水道)」について、現地を調査し、ルートや供給可能量などを検討し、実現可能性の高い復水方法の検討を行ってきました。また、「御所水道復元」に向けた提案・冊子の作成を進めてきました。

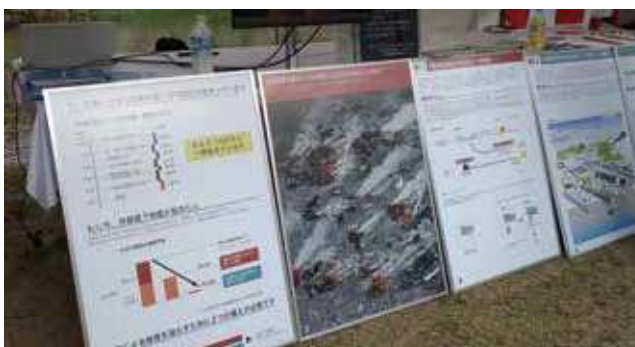


短期計画 天水バケツプロジェクト

雨水を防災・生活・景観に活かす雨水活用計画「天水バケツプロジェクト」の推進と普及に取り組んでいます。このプロジェクトは、誰でも気軽にはじめることのできる雨水活用型の火災対策で、バケツに貯めた雨水をいざという時の初期消火に役立てることによって、火災の脅威から人命と文化財を守ることが目的です。初期消火のほか、植栽の水やりや掃除など日常の生活にも活用することができる環境や生物にも優し

い仕組みであることが特長です。

令和6年度(2024年度)は、プロジェクトの認知度向上のため、8月3日、4日に開催された鴨川納涼ヘブス展示を実施(2日目は雨天により中止)。デモ機を使用しながら仕組みの説明やパンフレットの配布を行いました。また、錦天満宮のご賛同を得て、新京極商店街エリアにて、普及活動を行いました。





京都の「伝統文化」の保存と活用

コツコツ！日本文化の扉シリーズ

コツコツ！は、扉をたたく音。地道に続けることの価値も含んでいます。このシリーズでは、日本の伝統文化にかかわるさまざまな扉を用意しました。開催形式は各回工夫を凝らし、対面あるいはオンラインのレクチャー、ワークショップやフィールドワークなど、テーマに応じて変わります。

第1回

自然と都市と文化遺産：文化を遺す+産み出す

■日 時：令和7年(2025年)1月10日(金)17時00分～19時00分
■会 場：FabCafe Kyoto ■パートナー：株式会社ロフトワーク
■参加費：無料

〈内容〉

- ・イントロダクション：「コツコツ！日本文化の扉『自然と都市と文化遺産』」
金 度源 氏(立命館大学理工学部准教授)
- ・トーク：「自然と文化」小川 敦子 氏(株式会社ロフトワーク アートディレクター)
- ・クロストーク：「文化を遺す+産み出す」
小川 敦子 氏 寺井 翔菜 氏(株式会社ロフトワーク 取締役 COO)
金 度源 氏
- ・ラウンドテーブル(参加者との共話・ディスカッション)
- ・交流会



第2回

お能の扉を叩く ― 巴 ―

■日 時：令和7年(2025年)2月5日(水)18時30分～20時30分
■会 場：興聖寺(織部寺)
■参加費：無料

〈内容〉

- ・トークセッション：田中 春奈 氏(金剛流能楽師)、
松尾 翠 氏(フリーアナウンサー、俳優)
- ・詞章：朗読 松尾 翠 氏、謡 田中 春奈 氏
- ・仕舞：シテ 田中 春奈 氏、地謡 羽多野 良子 氏
- ・境内拝観



第3回

「麻」再起による「神事・文化・産業」振興の未来ビジョン

■日 時：令和7年(2025年)2月22日(土)14時00分～16時30分
■会 場：文化と産業の交流拠点「旧富岡鉄斎邸跡」
■参加費：無料

〈内容〉

- ・基調講演：「麻布から読み解く、持続可能な日本古来の知恵」
吉田 真一郎 氏(近世麻布研究所所長)
- ・「大麻布」展示鑑賞
- ・基調講演：「法改正後の大麻再起による神事・日本文化・産業振興の可能性」
新田 均 氏(皇學館大学特別教授)



第4回

驚きが文化になる！漆とアートと伝統の話

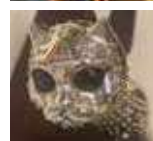
■日 時：令和7年(2025年)3月1日(土)15時00分～17時00分
■会 場：京町家ちおん舎
■参加費：無料

〈内容〉

- ・レクチャー・対談：
ヤノバケンジ 氏(現代美術作家、京都芸術大学教授、ウルトラファクトリー代表)
佐藤 貴彦 氏(株式会社佐藤喜代松商店 代表取締役4代目)

〔ナビゲーター〕

森田 瑞穂 氏(有限会社インタークエスト主任研究員、一般社団法人TeamD.I.代表理事)



参加者の声

- ・お能の舞台は何度も見に行っていますが、昨日はまた別の角度からのアプローチで新鮮な試みでした。全くの初心者にもわかりやすく説明してくださってお能への敷居がずいぶんと低くなったのだと思います。(第2回)
- ・漆によって作品が何百年、何千年と残り続けるという話が印象に残った。(第4回)



子ども文化教室「和歌・百人一首を楽しむ」

- 日 時：1日目 令和6年(2024年)7月24日(水)10時00分～12時00分
：2日目 令和6年(2024年)7月25日(木)10時00分～11時00分
- 会 場：1日目 キャンパスプラザ京都 5階 第2・第3演習室
：2日目 冷泉家
- 主 催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム、NPO法人 京都観光文化を考える会・都草
- 講 師：野村 渚 氏(冷泉家後嗣)、藤井 久美子 氏(NPO法人 京都観光文化を考える会・都草)
- 参加者数：12名(小学校4年生:7名、小学校5年生:3名、小学校6年生:2名)

1日目 和歌を書いてみよう(練習)

NPO法人 京都観光文化を考える会・都草の藤井久美子氏より、和歌についてのお話を聞いたあと、冷泉家後嗣の野村渚氏を講師に迎え、短冊に和歌を書く練習、冷泉家に続く節回しで和歌を読み上げる練習をしました。



2日目 和歌を書いてみよう(体験)

冷泉家夫人の冷泉貴実子氏、野村氏を講師に迎え、冷泉家の歌会を行うお座敷で和歌を書く体験をしました。お座敷での作法、和歌の作法を大切にしながら、和歌の披露にも挑戦しました。



参加者の声

- ・ この2日間を通して、苦手だった百人一首が大好きになりました。すみなどをすったり、たんざくにかいたりするのが、どきどきしました。
- ・ 墨をする作法を通して、静かな空気が流れ、子供たちが集中していく様子が驚きました。歌の読み方、テンポのとり方を野村先生に教えていただき、帰ってからでも練習しています。2日間とも、終わったとたん「楽しかったなあ」と開口一番に言っていました。(保護者)



新春 子どもお茶会

■ 日 時：令和7年(2025年)1月5日(日)

お茶席ワークショップ * 未経験者向け

10時の部 10時00分～11時15分

15時の部 15時00分～16時15分

お茶席体験(薄茶席) * 経験者向け

13時の部 13時00分～14時15分

■ 会 場：「西陣の町家・古武」

■ 主 催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム、
：NPO法人 京都観光文化を考える会・都草

■ 参 加 費：1000円

〈内 容〉

- ・「西陣の町家・古武」主宰古武博司氏から町家の説明
- ・「お茶席ワークショップ」初めて茶道に触れる方向けの解説とお茶を点てる体験
- ・「お茶席体験(薄茶席)」お茶会形式で薄茶席のお客様役を体験



参加者の声

- ・説明も分かりやすくて日本の伝統文化にふれられたのでよかったです。
- ・お茶会をしてみても先生の話がとてもわかりやすくて、初めてでも楽しくお茶の体けんができました。
- ・まっちゃが少し苦かったけどおいしかったし、花びらもちもはじめて食べたけど、おいしかった。町家もはじめてしることができ、きょうみをもてました。ともだちもできてうれしかった。

子ども茶歌舞伎体験

■ 日 時：令和7年(2025年)2月1日(土)

一席目 11時30分～12時30分

二席目 13時30分～14時30分

■ 会 場：福寿園 京都本店6階「京の茶座」

■ 主 催：明日の京都 文化遺産プラットフォーム
：NPO法人 京都観光文化を考える会・都草

■ 参 加 費：1000円

〈内 容〉

- ・お茶の歴史や茶歌舞伎のお話 ・茶歌舞伎体験



参加者の声

- ・楽しかった。今までお茶の違いがよくわからなかったけど、今回茶かぶきをして、味やにおいなどぜんぜんちがうなと思いました。
- ・玉露というお茶を初めて飲みました！とても美味しかったです。お茶を当てるのは少しむずかしかったけれど面白かったです。
- ・お茶をのみわけるのはむずかしかったですが、茶の味がとてもおいしく、楽しかったです。茶はこび人形もはじめて見たのでおもしろかったです。

不登校児童・生徒支援 光る泥だんごを作ろう

- 日 時：令和6年(2024年)8月3日(土)10時00分～12時00分
- 場 所：職業訓練法人聚楽会 聚楽会館
- 対象学年：フリースクールに通う児童・生徒
- 協 力：京都左官協同組合

〈内 容〉

- ・左官のお仕事のお話
- ・光る泥だんご作り体験



これまで「明日の京都」では、5つの事業領域の一つである「『文化遺産』に関する教育・研究と人材育成」に基づき、小学生をはじめとする児童や全国から京都に集う大学生などを対象として、京都の伝統文化にふれる・体験する・学ぶ機会の創出に、団体発足当初から取り組んできました。

近年、不登校児童が全国的に増加の一途を辿っています。学校に通うことができていない子どもたちに対しても伝統文化にふれる・体験する・学ぶ機会を提供したいという思いから企画を実施いたしました。



テンプルステイin宇治

- 日 時：令和6年(2024年)9月11日(水)～9月12日(木)
- 会場主催：宇治市内(宿泊先：興聖寺)
- 参 加 者：立命館大学 学部生・大学院生10名

〈内 容〉

- ・1日目 茶畑・工房の見学、茶問屋訪問、興聖寺宿坊体験
- ・2日目 早朝座禅・読経、朝日焼工房見学、お茶席体験

文化に対する教養やリーダーシップは、短期間で醸成されるものではなく、幼少期や青少年期からどれほど文化に触れていたかが重要ではないかという仮説から、テンプルステイのプログラムを考案しました。日本有数の茶どころ宇治には「お茶」とともに歩んできた文化や産業、そして、それをとりまくたくさんの人たちがいます。「お茶」にかかわる様々な人たちと出会い、お寺での修行やお茶席で自分と向き合い、学ぶ2日間となりました。

1日目



2日目





「文化遺産」に関する教育・研究と人材育成

京都世界遺産PBL科目

公 益財団法人大学コンソーシアム京都との連携協定の
もと、京都を拠点とする約45の加盟大学の学生を対象
とした授業「京都世界遺産PBL科目」を平成27年度(2015年
度)から開講しています。

(注1)単位互換・・・他大学が提供する正規科目を履修し、次代額の単位として認定される制度。

(注2)PBL・・・Project Based Learningの略。課題解決型学習と訳される能動的学習法。

世界遺産を学びのフィールドに、単位互換(注1)科目として
開講されるPBL(注2)科目は全国に例のないものです。令和6
年度(2024年度)は9大学から約120名の学生が受講しました。



* 敬称略

水をキーワードにした 「賀茂の水まつり」の活性化

概要 開講大学：京都産業大学
担当教員：若松 正志、吉野 秋二
受入先：上賀茂神社

清水寺の△△の○○(良い点)を磨け! もしくは□□(困っている点)を救え!

概要 開講大学：立命館大学
担当教員：宗本 晋作、遠藤 直久、青柳 恵昌
受入先：清水寺

仁和寺を、もっと! Ver.2

概要 開講大学：京都光華女子大学
担当教員：大島 祥子、朝比奈 英夫
受入先：仁和寺

価値主導型・推奨型に基づく 文化遺産マーケティング

概要 開講大学：同志社大学
担当教員：多田 実
受入先：元離宮二条城

京都の文化遺産とその保護 ～清水地域の防災への取り組み～

概要 開講大学：立命館大学
担当教員：大窪 健之
受入先：清水寺

醍醐寺 三宝院殿表書院内 付設上便所について 最新町石研究資料を広く伝えるプロジェクト

概要 開講大学：京都橘大学
担当教員：小林 裕子、中久保 辰夫
受入先：醍醐寺

古都の仏教 一伝教大師最澄・比叡山延暦寺の魅力と現代一

概要 開講大学：龍谷大学
担当教員：道元 徹心
受入先：比叡山延暦寺

大学コンソーシアム京都 京都世界遺産PBL科目
<https://consortiumkyoto-tanigokan.jp/worldheritage/>

受講生・関係者の声や実施科目の詳細はこちら



京都の伝統工芸・伝統産業：産学連携教育

公益財団法人大学コンソーシアム京都との連携事業として、2名の学生(明治
大学・同志社大学)をエクスターンシップ生として受け入れました。

■ 日 時：令和6年(2024年)8月26日(月)～9月9日(月)

■ 実 習 先：京都伝統産業ミュージアム(見学)、京都染元しょうび苑(工房見学・体験)
：株式会社老松北野店(店舗運営)、大西常商店(工房見学・インタビュー)

明日の京都インターンシップ

次世代を担う学生に当団体の趣旨を伝え、古都京都の文化遺産を取り巻く現状や諸問題に対する当事者
意識を涵養することを目的としています。

令和6年度(2024年度)は、夏期に3名、春期に4名の学生を受け入れました。



〈平安京 羅城門十分の一模型の展示〉

平成6年(1994年)に平安建都千二百年記念事業として、宮大工をはじめ京都の職人たちの技術の粋を結集し、「平安京羅城門十分の一模型」が製作されました。当団体は、この模型を京都駅前北口広場に移設し、展示しています。

よみがえる羅城門特設サイト

<http://tomorrows-kyoto.jp/rajomon>



羅城門の再建に向けて

団 体設立から10年を機に、令和2年(2020年)10月20日に羅城門再建の呼びかけ、その基本構想を発表する記者会見を行いました。構想を具現化するためには、事業の主体となる実行組織が新たに必要であり、個人や企業、団体に広く賛同を呼びかけ、その機運醸成に取り組んでいます。

第6回平安京を語る会 ボランティア研修会

- 日 時：令和6年(2024年)10月5日(土)13時30分～15時30分
- 会 場：立命館朱雀キャンパス 1階多目的室1

〈内 容〉

- 講 演 1：「模造大極殿(平安神宮拝殿)が岡崎に造られた経緯」
古山 精一 氏(平安京を語る会副会長、日本建築学会会員)
- 講 演 2：「羅城門の伝説をめぐって」
五島 邦治 氏(歴史学者、往還塾塾長)
- 活動報告：「平安京羅城門(実物大)復活へ向けた活動について」
本田 一泰 氏(羅城門復活研究会代表幹事)



メディア掲載

- ・倉本一宏(2024年)『平安貴族の心得～「御遺誡」でみる権力者たちの実像』朝日新聞出版
- ・新井淳也、大野智史、福田智弘(2025年)『小学館版学習漫画 日本の歴史 別巻 人物事典 決定版』山川出版社

令和6年度(2024年度) 主な活動一覧

令和6年(2024年)	
日付	活動内容
6月19日(水)	令和6年度(2024年度)NPO法人社員総会
7月 1日(月)	令和6年度(2024年度)理事会
7月中旬～	「京都の文化財を描こう」子ども絵画コンクール
7月24日(水)・25日(木)	子ども文化教室「和歌を楽しむ」
8月 3日(土)	不登校児童・生徒支援 光る泥団子を作ろう
8月 3日(土)～4日(日)	天水バケツプロジェクト 鴨川納涼ブース展示 ※2日目は雨天により中止
8月26日(月)～9月9日(月)	京都の伝統工芸・伝統産業:産学連携教育 大学コンソーシアム京都との連携事業:エクスターンシップ
9月11日(水)～12日(木)	テンプルステイin宇治
9月25日(水)	第12期NPO法人・学生インターンシップ活動報告(企画調整委員会)
10月 5日(土)	第6回平安京を語る会 ボランティア研修会
10月14日(月・祝)	第14回フォーラム「\教えて!磯田先生/未来のための災害の歴史」
	「京都の文化財を描こう」子ども絵画コンクール展示・表彰(第14回フォーラム内にて開催)
12月 8日(日)	京都世界遺産PBL科目 成果報告会

令和7年(2025年)	
日付	活動内容
1月 5日(日)	新春 子どもお茶会
1月10日(金)	コッコッ!日本文化の扉シリーズ 第1回「自然と都市と文化遺産:文化を残す+産み出す」
2月 1日(土)	子ども茶歌舞伎体験
2月 5日(土)	コッコッ!日本文化の扉シリーズ 第2回「お能の扉を叩く-巴-」
2月19日(水)～3月4日(火)	京都の文化財を描こう子ども絵画コンクール 作品展
2月22日(土)	コッコッ!日本文化の扉シリーズ 第3回「「麻」再起による「神事・文化・産業」振興の未来ビジョン」
2月25日(火)	第13回世界遺産「古都京都の文化財」ネットワーク会議
3月 1日(土)	コッコッ!日本文化の扉シリーズ 第4回「驚きが文化になる!漆とアートと伝統の話」
3月10日(月)	明日の京都講座「相国寺」
3月26日(水)	第13期NPO法人・学生インターンシップ活動報告(企画調整委員会)

大好評の
「明日の京都講座」を書籍化しました!!

購入をご希望の場合は、明日の京都 文化遺産
プラットフォーム事務局までご連絡ください。

TEL:075-813-8166



明日の京都 文化遺産プラットフォーム 企画調整委員一覧

役職	氏名	所属・役職等	役職	氏名	所属・役職等
委員長	土岐 憲三	立命館大学特別研究フェロー	委員	長澤 香静	一般財団法人京都仏教会事務局長
副委員長	高見 茂	京都光華女子大学学長		野崎 貴典	古典の日推進委員会 ゼネラルプロデューサー
委員	秋尾 沙戸子	ノンフィクション作家		林 恵子	京都ブライトンホテル ブランドコミュニケーション担当支配人
	阿部 成樹	株式会社毎日放送事業局事業部シニアスタッフ 京都プロジェクト		林 真司	サントリー株式会社京都支社長
	池田 直史	株式会社福寿園執行役員 統括サービスグループサービス推進チーム長		深川 良一	学校法人立命館理事補佐 立命館大学総合科学技術研究機構招聘教授
	市田 香	京都市元離宮二条城事務所所長		藤森 和也	京都府土地開発公社理事長
	井上 久明	京都市都市計画局都市景観部 景観政策課歴史的景観保全担当課長		古川 匠	京都府文化的生活部文化政策室 政策推進係課長補佐
	今泉 柔剛	文化庁審議官		本田 一泰	羅城門復活研究会代表幹事
	烏賀陽 百合	庭園デザイナー		増井 正哉	大阪くらしの今昔館館長、 京都大学・奈良女子大学名誉教授
	梅原 和久	京都府文化的生活部文化政策室長		益田 兼房	ICOMOS-ICORP執行委員
	猿渡 毅	京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財担当部長		松村 明日香	京都府文化的生活部文教課参事
	大窪 健之	立命館大学理工学部環境都市工学科教授		松本 和加子	公益財団法人京都市文化観光資源 保護財団専務理事
	川道 美枝子	関西野生生物研究所代表理学博士		万所 ルミ	京都府総合政策環境部 地域政策室企画参事(中部担当)
	金 度源	立命館大学理工学部 環境都市工学科准教授		室崎 益輝	神戸大学名誉教授
	木村 忠紀	京都府建築工業協同組合相談役		森 清顕	北法相宗務長、清水寺執事 教学部長
	桐谷 修	大日本印刷株式会社 CSV 西日本企画部 京都文化遺産連携プロジェクト		森尾 勇三	京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財保護課長
	草木 大	京都市文化芸術政策監		森島 朋三	学校法人立命館理事長
	栗原 祐司	国立科学博物館副館長		森田 瑞穂	一般社団法人 Team D.I. 代表理事
	佐賀 裕子	株式会社響映企画営業部ディレクター		矢野 桂司	立命館大学文学部人文科学地理学専攻 教授
	坂本 孝志	NPO 法人京都観光文化を考える会・ 都草特別顧問		山口 敬太	京都大学大学院地球環境学学准教授
	清水 重敦	京都工芸繊維大学教授		山崎 正史	立命館大学名誉教授・特任教授
	下遠 秀樹	元京都市消防局次長		山田 登喜雄	高台寺ひらまつ総支配人
	杉本 歌子	公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会 学芸部長		山本 勝己	京都府左官業組合連合会相談役
	杉本 誠	株式会社毎日放送事業局事業部 京都プロジェクト担当部長		米田 晃之	宇治市都市整備部部長
	鈴木 祥之	京都大学名誉教授	オブザーバー	長澤 静敬	一般財団法人京都仏教会事業部長
	高橋 良和	京都大学大学院工学研究科教授		藤本 将光	立命館大学理工学部環境都市工学科准教授
	土橋 聡憲	京都市観光政策監		山田 悟史	立命館大学理工学部 建築都市デザイン学科准教授
	豊田 博一	NPO 法人京都観光文化を考える会・ 都草理事	アドバイザー	山本 壯太	古典の日推進委員会アドバイザー
	中嶋 茂博	京都府神社庁参事	事務局長	志方 弘樹	学校法人立命館専務理事

令和7年3月31日現在